

# 令和8年度 学校努力点

## 1 令和8年度 名古屋市学校教育「学びの方針」

学習指導要領、「ナゴヤ子ども応援大綱」及び「名古屋市教育振興基本計画」を受け、令和8年度名古屋市学校教育「学びの方針」が次のように定められた。

### ナゴヤ学びのコンパス（学びの方針）

#### 実現したい市民の姿

自由な市民として互いを認め合い、共に社会を創造する

#### 目指したい子どもの姿

ゆるやかな協働性の中で自律して学び続ける

#### 重視したい学びの姿

- ・ 自分に合ったペースや方法で学ぶ
- ・ 多様な人と学び合う
- ・ 夢中で探究する

#### どの学校園でも大人が大切にしたいこと

子どもは有能な学び手であると理解し、子どもの学びに伴走する

- ・ 子ども一人一人の思いや願いを尊重する
- ・ 子どもと対話する
- ・ 子どもの自分なりのチャレンジを大事にする

## 2 浄心中学校 校訓

健康で明るく 勤勉で楽しく 聡明で正しく

## 3 令和8年度 浄心中学校努力点

ともに笑い ともに学び ともに生きる

－みんなで、陽だまりの笑顔！－

### (1) 令和8年度浄心中学校努力点設定の理由

#### 令和7年度の成果

令和7年度は、上記努力点の設定5年目として「笑顔で生きる」をキーワードに、キャリア教育の基礎的・汎用的能力の育成に重点をおき、「主体性」を高め、自他を尊重する態度の育成を目指した。また、生徒が自分の生き方を前向きな態度で模索しながら自他の「笑顔」を大切にして生きていけるよう実践した。その結果、学校評価において次の回答を得た。

学校評価の結果（「**そう思う**」「**どちらかといえばそう思う**」の回答結果）

- ・ 生徒アンケート
  - ㊦ 笑顔で学校生活を過ごせている→【96%】
  - ㊧ 友達の笑顔を大切にしている→【97%】
- ・ 保護者アンケート
  - ㊦ 生徒は自分自身を大切にしている→【95%】
- ・ 教職員アンケート
  - ㊦ 生徒は自分のよさに気づき、自分を大切にしようとしている→【100%】
  - ㊦ 生徒は他者のよさを認め、他者を大切にしようとしている→【100%】

これらの結果から、自他を尊重する態度の育成を目指した令和7年度の取り組みは、一定の成果があったといえる。

#### 令和7年度の課題

一方で、次のような回答も得た。

学校評価の結果（「**そう思わない**」「**どちらかといえばそう思わない**」の回答結果）

- ・ 生徒アンケート
  - ㊦ 今年度の努力点を知っているか→【20%】
- ・ 保護者アンケート
  - ㊦ 学校が努力点に基づいて活動していることを知っているか→【28%】
  - ㊦ 学校が安心・安全で幸せな居場所になっている→【11%】
  - ㊦ 学校は、いじめのない学級・学校づくりに努めている→【14%】
  - ㊦ 学校は生徒の主体性を尊重し、考える力を高められるよう努めている→【20%】

㊦㊦の努力点に関して、NCSにおいては、保護者代表から「入学式で主幹から十分な説明があったため、一概に学校に原因があるとは思わない」という意見を得たが、入学後も繰り返し説明し、理解を得ることが必要だったと考える。

㊦㊦については、2月現在、不登校といわれる年間30日以上欠席している生徒数が30人（5.8%）、学校がいじめ被害者と認知した延べ生徒数が39人（7.6%）いることから、ある程度否定的な回答を得ることは想定でき、NCS参加者も概ね納得する結果だった。しかし、不登校生徒やいじめに関連した生徒、その保護者に対して、適切に対応することで安心・安全な学校づくりを進めるとともに、その他すべての生徒・保護者に肯定的な回答を得られるよう、引き続き努めることが重要である。

㊦については、令和7年度努力点の中心の一つだったが、20%の保護者から否定的な回答を得ることになった。教職員アンケートで、生徒の「自分で考える力」を育成したいという意見があったが、生徒が主体的に考える姿とはどのようなものなのかを具体的にイメージし、教職員で共通の認識をもって令和8年度も教育活動に取り組む必要がある。NCS参加者も、生徒の主体性を育成するという本校の方針に賛同している。

#### 令和8年度浄心中学校努力点のねらい

以上の点から、令和8年度は、「笑顔で生きる」をキーワードに、以下の重点活動を中心にして生徒の「主体性」を高め、自他を尊重する態度を育む。そして、生徒が自分の生き方を前向きな態度で模索しながら、自他の「笑顔」を大切に生きていけるよう支援する。

## (2) 重点活動

### ① 総合的な学習の時間を柱として「自己の生き方」を考えるキャリア教育

ブロック小学校と連携し、総合的な学習の時間に探究的な学習活動を行う。次に示す4つの活動を探究的な学習と定義し、各学年で授業を実践する。ブロック小学校でも同様の探究的な学習を行うことで、小中一貫した体系的な指導を実施する。令和8年度は特に、「人間関係形成・社会形成能力」の育成に重点をおく。各学年、年間を通して行うキャリア学習のテーマを1つ設定し、探究学習を行う。

＜探究的な学習過程＞

①見つける→②調べる→③解決する→④まとめる

＜各学年のテーマ＞

1年生：「福祉について学ぼう」

2年生：「自分らしい生き方について考えよう（職業）」

3年生：「修学旅行での学びを自分の進路選択に生かそう」

### ② 自ら考え選択し、主体的に「自分の生き方」を模索する生徒支援

生徒指導提要で示された「自己指導能力」をもとに、【主体的に「自分の生き方」を模索する生徒の姿】を引き出せるように、日々の生徒支援に取り組む。支援する際は「なぜ？」を大切に生徒と対話を繰り返し、生徒が自分の問題として望ましい選択ができるようにする。

### ③ 教室に入れない生徒が「自分の生き方」を見つめる校内フリースクールの運営

様々な理由で教室に入れない生徒が、校内の教室以外の居場所で学ぶことで、将来の社会的自立につながる力を伸ばせるよう、校内フリースクールを運営する。安心して学習できる環境を整え、保護者の協力を得ながら、個に応じた支援ができるようにする。